

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2021年 **おかげさまで**
400号

発行：医療生協さいたま
埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

TEL.0570-00-4771

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

2

埼玉協同病院を受診される患者さまへ

当院の役割とかかりつけ医へのご紹介について

当院は、急性期病院として地域の医療機関との連携をはかっています。検査や手術、入院を必要とする患者さまに対して専門的な医療を提供する病院です。症状が安定している患者さまは、地域の医療機関への受診をお願いします。かかりつけ医をお持ちでない患者さまには当院と連携している医療機関をご紹介します。

当院への受診は、かかりつけ医からの紹介状(診療情報提供書)を持ってお越しく

さいますようお願いいたします。紹介状は、治療経過や服薬内容を把握するために必要な情報です。紹介状をお持ちの方は、紹介状を手元にご用意の上、来院される前に、地域連携課へお問い合わせください。

現在、救急医療体制の拡充・強化のため、紹介患者さま及び重症の方を優先的に診療させていただいております。そのため、診察待ち時間が長くなる場合がございますのでご了承ください。

紹介状お持ちの方 ▶ **0570-047-489**
ガイダンスに従って「1」を押してください

月～金：午前8時30分～午後5時まで
土曜日：午前8時30分～午後1時まで(第2土除く)

かかりつけ医とは…患者さまの居住地域で健康のことを何でも相談でき、必要時は専門の医療機関を紹介してくれる身近な医師のことです



子ども予防接種週間のお知らせ

3月1日(月)～3月7日(日)は子ども予防接種週間です。ワクチン予防接種で防ぐことの出来る病気(VPD: Vaccine Preventable Diseases)をなくすために、2003年から始まった全国的な取り組みです。ワクチンで防げる病気も、重症の場合は後遺症を残したりすることがありますが、ワクチン接種をしておけば、それを防ぐことができます。協力医療機関は、通常の診療時間に予防接種が受けにくい方々に対して、土日や平日夜間などで予防接種を行います。当院でも、積極的なワクチン接種を呼びかける期間となっています。この機会に、お子様の予防接種の実施状況をご確認いただき、入学、入園、進級などの前にぜひ済ませておきましょう。

【日 程】2021年の予定は詳細が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

【場 所】小児科外来
【持ち物】予診票、母子手帳



予防接種を受ける際には予約が必要になりますので、お電話または小児科外来にて予約をお取りください。

- BCG・ロタリックスは、当院の予防接種週間では実施いたしません。
- 当日の体温が37.5℃以上ある方、一週間以内に37.5℃以上の発熱があった方は接種ができません。キャンセルのご連絡をお願いします。

問い合わせ
申し込み

電話予約センター
TEL.0570-047-489
または 小児科外来 まで

2021年度の健康診断予約受付を開始しました

今年度健診を受けられなかった方は、次年度早い時期に健診をうけましょう。

当院では、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

4月から受けられる健診

2020年度の内容です。詳細は川口市保健センターにご確認ください

川口市国保人間ドック	30歳～64歳	9,900円
	65歳～74歳	6,600円
川口市後期高齢者人間ドック	75歳～	6,600円
川口市胃がん内視鏡検診	50歳～69歳	2,000円
	70歳～	無料 隔年実施
川口市大腸がん検診	40歳～69歳	500円
	70歳～	無料



問い合わせ
申し込み

電話予約センター TEL.0570-047-489 ガイダンスに従って「2」を押してください



こちら **HPH『フレイル』**

※HPHは、健康増進を患者様・地域住民・病院職員にすすめていくWHO(世界保健機構)が推奨する国際的な病院ネットワークです。

皆さん、「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか? 「フレイル」というのは、加齢とともに、筋力や心身の活力が低下した状態(虚弱)のことです。

高齢者の多くは、健康な自立した状態から、加齢に伴って様々な身体機能が低下した「フレイル」の段階を経て、要介護状態に至っていきます。フレイルの兆候を早期に発見して日常生活を見直すなどの正しい対処をすることで、身体機能の低下を抑制したり、健康な状態に戻すことができます。

フレイルには3つの要因「からだ」、「こころ」、「つながり」、があります。1つのことだけに働きかけるのではなく、全体に働きかけていくことが重要です。

フレイル予防の3つの柱は、栄養(食・口腔機能)、運動、社会参加です。毎日いきいきと健康的な生活を送るためには、しっかり噛んでしっかり食べる、しっかりからだを動かす、社会とのつながりをもつ、これら3つをバランスよく実践することが非常に大切です。

今年から、健康診断(特定健診)では、後期高齢者の問診が、フレイルに着目した内容になりました。フレイルの兆候があると、パンフレットをお渡ししてご説明しており、喜ばれています。



